MEDIA NEW NORMAL

コロナ禍は生活をどう変えたか
メディアはどう変わるか

メディア
環境
研究所

株式会社 博報堂ＤＹメディアパートナーズ

メディア環境研究所 所長

島野　　真

MEDIA NEW NORMAL

コロナ禍は生活をどう変えたか　メディアはどう変わるか

2020/12/09 (水)

Day-1

「オンライン同期」が
メディアコンテンツを
強くする

2020/12/10 (木)

Day-2

「地域アクション」で
メディアと生活者の
絆をつくる

Day-2
「地域アクション」で
メディアと生活者の絆をつくる

タイムテーブル

- 12:15　オープニング
- 12:20　Day2キーノート
- 13:10　パネルディスカッション
  「地域アクション」から考える未来づくり
- 13:40　クロージング

13:45終了予定

Keynote Speaker

新美 妙子
メディア環境研究所
上席研究員

曽根 裕
メディア環境研究所
上席研究員

Panel Discussion

「地域アクション」から考える未来づくり

松下 智彦様
株式会社朝日新聞社
総合プロデュース本部
デジタル・ソリューション部
次長

竹田 真二様
森ビル株式会社
オフィス事業部
営業推進部兼企画推進部
部長補佐

モデレーター
新美 妙子 メディア環境研究所 上席研究員

生活者はいま、
身の回りの「地域」というものに対して
意識的になってきている。

地域への意識（2020年9月）

社会のことも大切だが、 **家族や友人、地域など身近なコミュニティをより大切にしていきたい**	**51.5%**
自宅の近隣の情報を調べるのが増えた	**25.0%**
買物や飲食などはなるべく近所で済ませている	**72.2%**

地域への「意識」「行動」は引き続き定着

メディアニューノーマル調査：東京都在住の15-69歳男女　1200サンプル　20年9月25-30日実査

既存の交友関係以外に、地域で新たな繋がりを求める動きも

Q 新型コロナウイルスの影響を受けた生活になって、人とのつながりを求めて始めたこと

男性 16歳
地元友だちによくチャットや電話をするようになった

女性 26歳
地元の友人と会う時間が増えた

男性 64歳
地域社会との付き合いを始めた

女性 16歳
地元の大きな公園で近所の人と朝からウォーキングとラジオ体操をするイベントに参加した

男性 63歳
毎朝5時くらいから近くの土手を1時間ほどウォーキングしている
ジョギングしたりウォーキングしている人たちと顔見知りになり、最近では**挨拶以上の会話**が弾むようになり、**今後はさらに発展するのではないか**と思うようになった。

女性 43歳
散歩時の挨拶を増やした

生活者との関係を深化させる
「地域アクション」に動く
各地のメディア企業を取材。

メディアやブランドは
生活者とどんなアクションをつくりうるのか？
どんなビジネスに拡がるのか？

Day2 キーノート

「地域アクション」で
メディアと生活者の絆をつくる

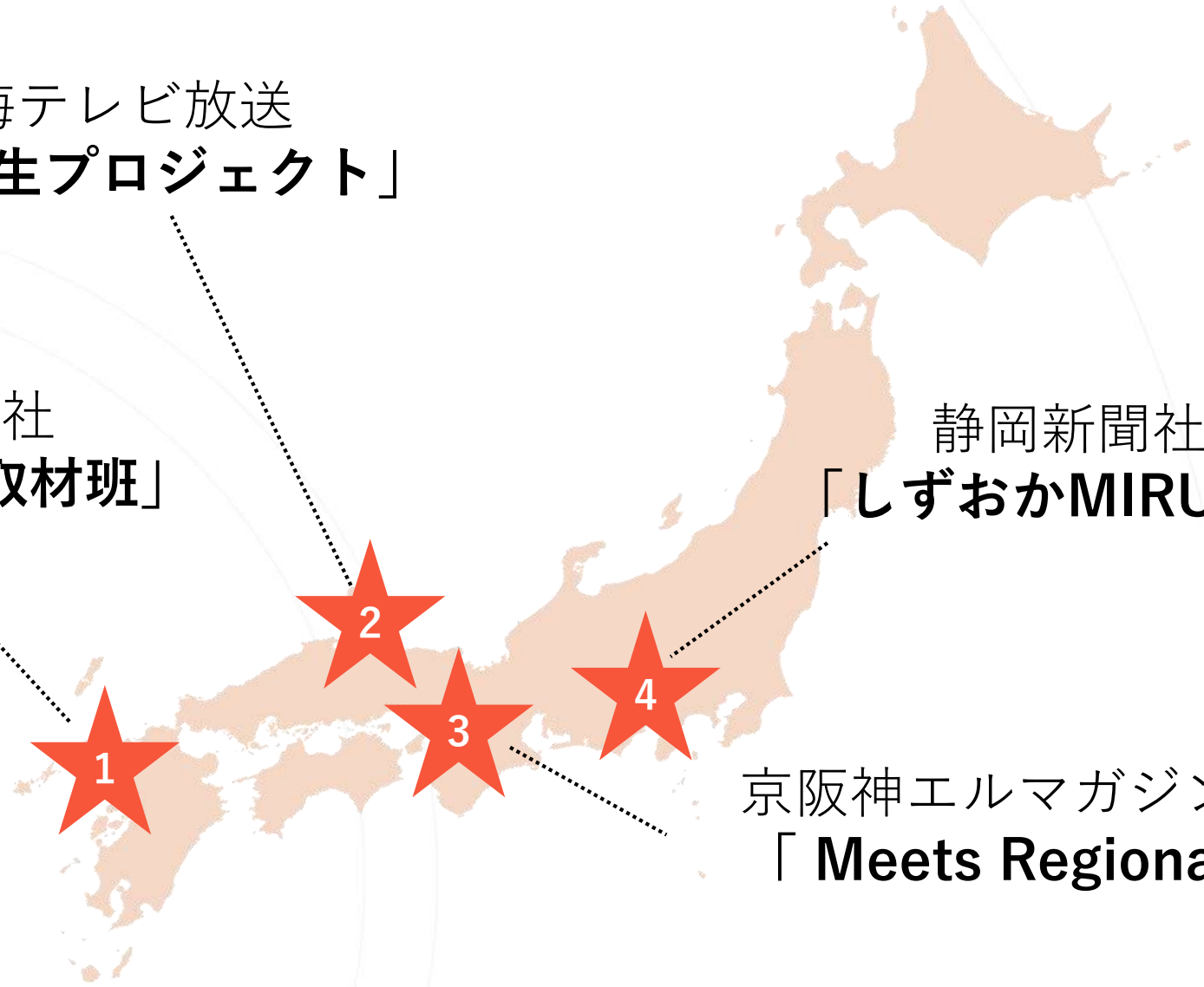
キーノート登壇者紹介

新美 妙子
メディア環境研究所
上席研究員

曽根 裕
メディア環境研究所
上席研究員

「地域アクション」から
生活者とのつながりを紐解く

4つの「地域アクション」



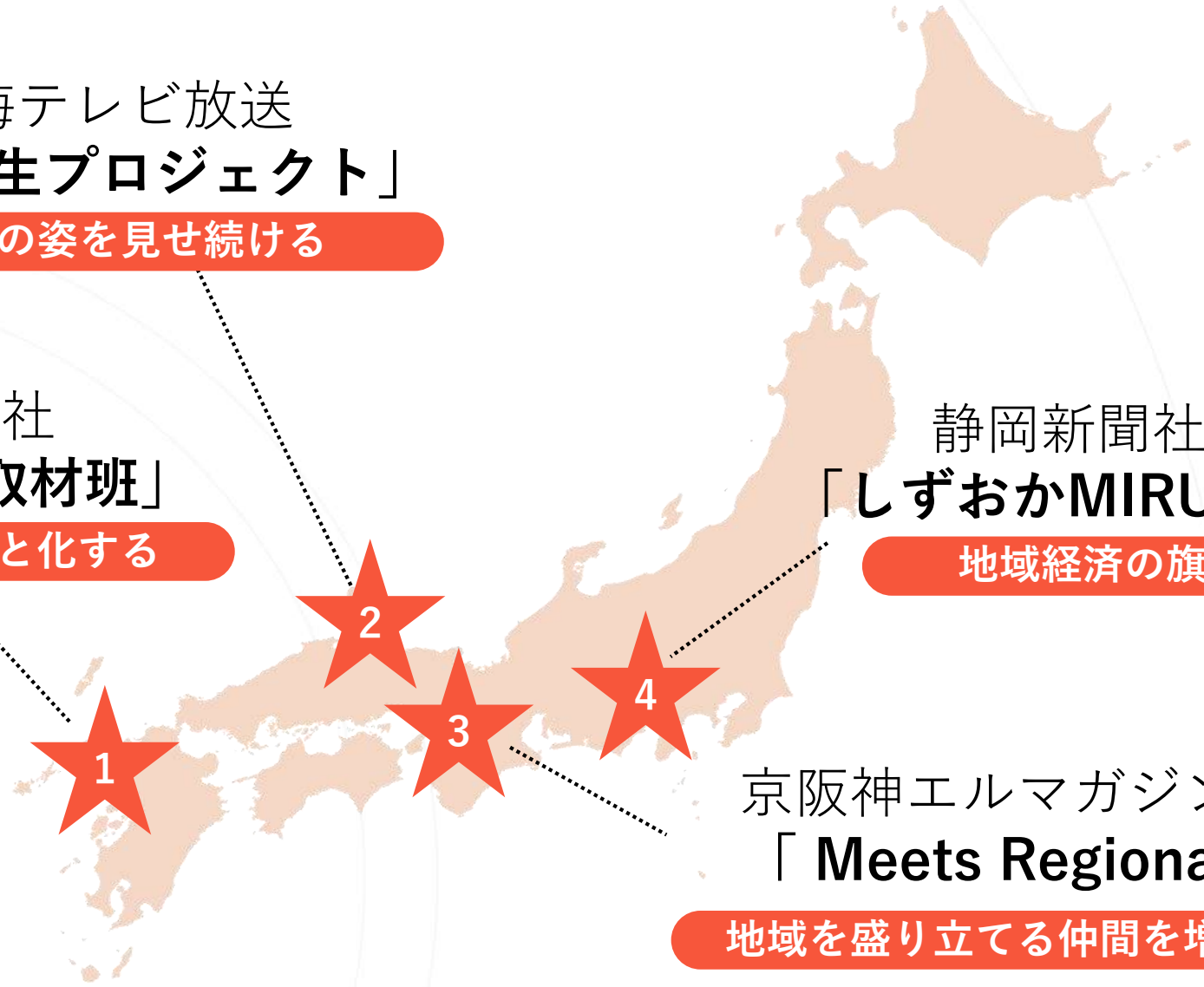
中海テレビ放送
「中海再生プロジェクト」

西日本新聞社
「あなたの特命取材班」

静岡新聞社・静岡放送
「しずおかMIRUIプロジェクト」

京阪神エルマガジン社
「 Meets Regional」

4つの「地域アクション」



中海テレビ放送
「中海再生プロジェクト」
少し先の姿を見せ続ける

西日本新聞社
「あなたの特命取材班」
困りごとを世の中ごと化する

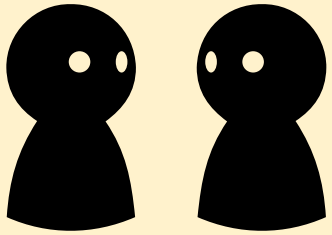
静岡新聞社・静岡放送
「しずおかMIRUIプロジェクト」
地域経済の旗振り役になる

京阪神エルマガジン社
「 Meets Regional」
地域を盛り立てる仲間を増やす

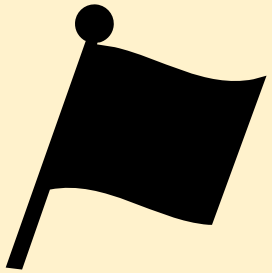
「地域アクション」は、普遍的であり再現性がある

「都市」でも「地方」でもない
「地域」という視点

地域アクション 4 つのポイント



同じ目線に立つ



旗を掲げる

人感をつくる

自ら行動する

地域アクション

1

西日本新聞社

「あなたの特命取材班」

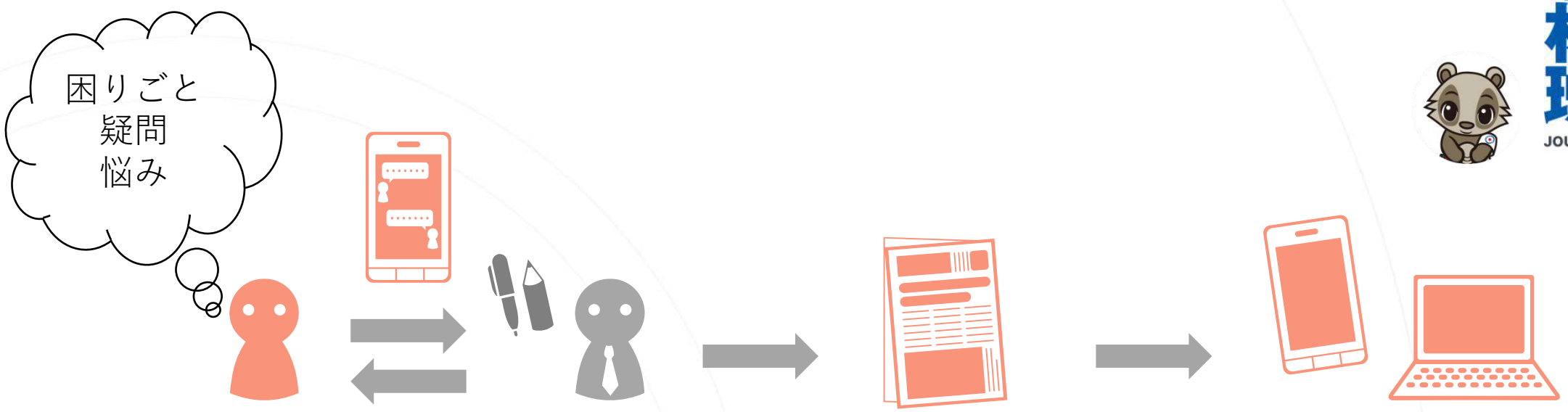
困りごとを世の中ごと化する

西日本新聞社　「あなたの特命取材班」

LINEでつながり、双方向のやりとりと
新聞社の取材力で生活者の困りごとを
社会課題として解決を目指す取り組み

困りごとを世の中ごと化する

〈あなたの特命取材班〉



双方向のやり取りで調査・取材

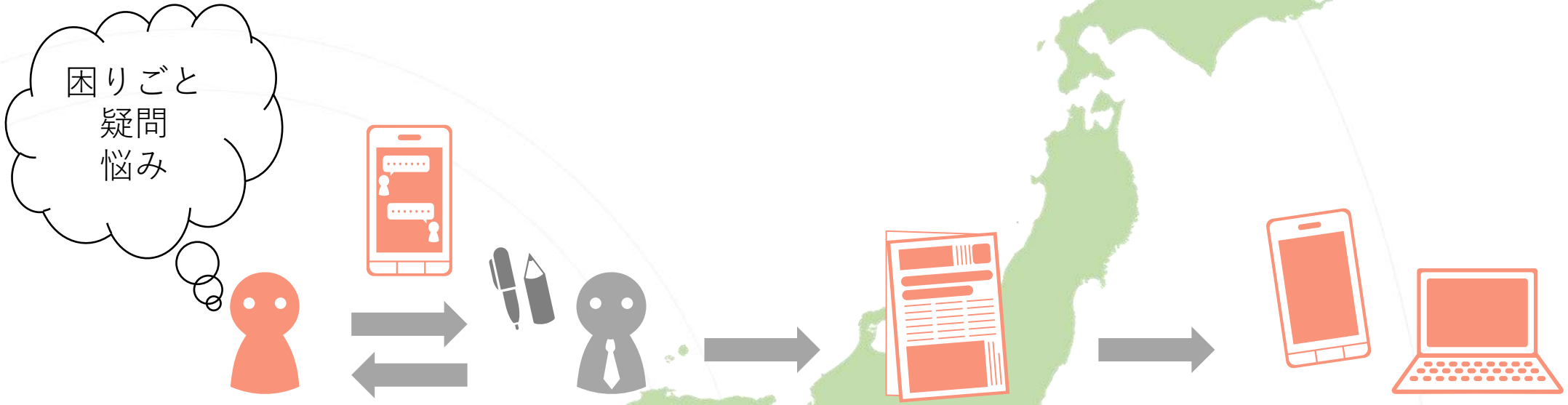
社会課題に昇華して発信

拡散・増幅

あなたの特命取材班
JOURNALISM ON DEMAND
Presented by 西日本新聞

困りごとを世の中ごと化する

〈あなたの特命取材班〉



双方向のやり取りで調査・取材

社会課題に昇華して発信

拡散・増幅

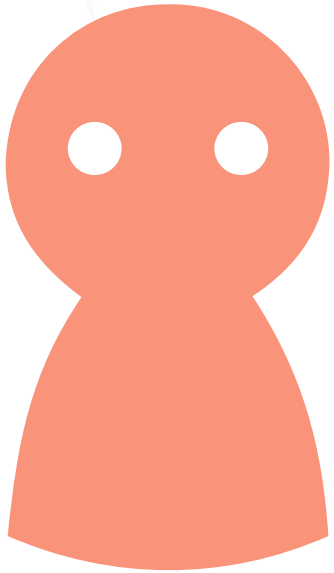
JOD(Journalism On Demand)

どのような つながりが生まれているのか

映像をご覧ください
※映像はウェビナー当日限定公開です

困りごとを送りました
「あなたの特命取材班」が読みました
記者が走りました、取材しました
写真撮りました、原稿書きました
記事にして、印刷して、
読者の手元に届いて、読みました

その過程を全部感じた時に「同志」



40代女性

新聞社に対する意識の変化

約8割が、期待感や親近感が高まった

※「あなたの特命取材班」によって西日本新聞社への「期待感が高まった」79.9%、「親近感を感じるようになった」77.2%
「あなたの特命取材班」参加者に対する調査（20年2月実施　1,342人が回答）より

対等につながり、困りごとが世の中ごと化する過程に参加してつながりが絆に

対等につながり、困りごとが世の中ごと化する過程に参加してつながりが絆に

対等につながり、困りごとが世の中ごと化する過程に参加してつながりが絆に

あなたの特命取材班

JOURNALISM ON DEMAND

Presented by 西日本新聞

社会課題を解決するため、

困りごとを世の中ごと化。

その過程に参加することで

気持ちがつながり、絆へ。

地域アクション

2

中海テレビ放送

「中海再生プロジェクト」

少し先の姿を見せ続ける

中海テレビ放送　「中海再生プロジェクト」

干拓・淡水化事業により
水質汚染が進んだ中海の再生を目指した
中海テレビ放送と市民のプロジェクト。

「10年で泳げる中海」を掲げて、
2011年に水泳大会を実現。
行政を巻き込んで様々な再生活動を継続。

〈中海再生プロジェクト〉

アダプトプログラム

水泳大会

夕暮れコンサート

体験クルージング

環境フェア

提供：中海テレビ放送

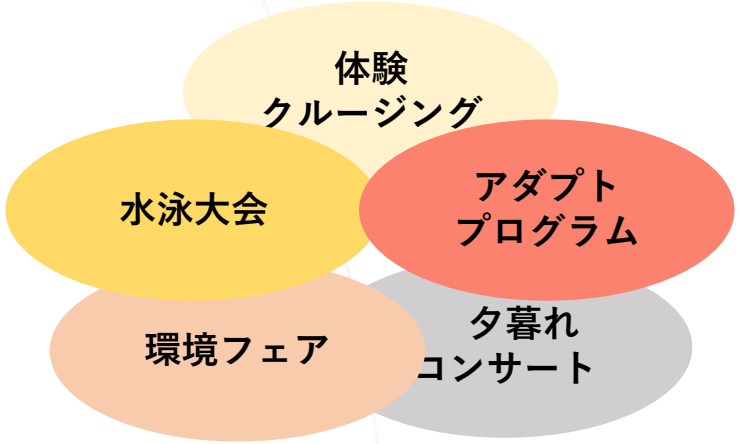
少し先の姿を見せ続ける

同じ目線に立つ

中海水質改善
キャンペーン番組

「中海再生プロジェクト」
番組出演者と共に立ち上げ

中海に行きたくなる
さまざまな仕掛け



映像をご覧ください
※映像はウェビナー当日限定公開です

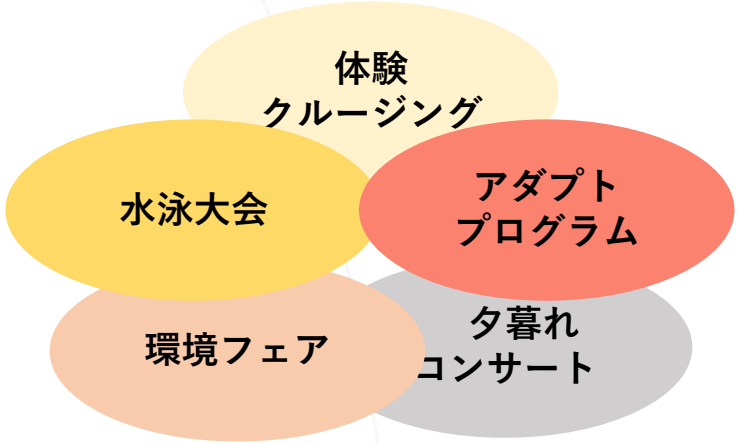
少し先の姿を見せ続ける

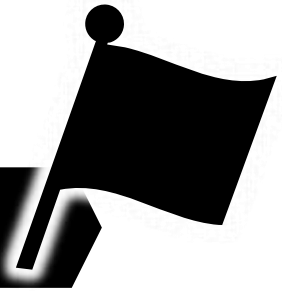
同じ目線に立つ

中海水質改善
キャンペーン番組

「中海再生プロジェクト」
番組出演者と共に立ち上げ

中海に行きたくなる
さまざまな仕掛け





旗を掲げる

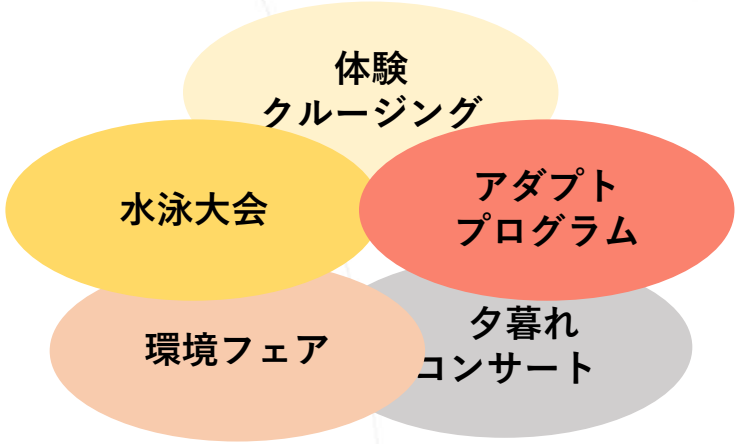
少し先の姿を見せ続ける

同じ目線に立つ

中海水質改善
キャンペーン番組

「中海再生プロジェクト」
番組出演者と共に立ち上げ

中海に行きたくなる
さまざまな仕掛け



旗を掲げる

自ら行動する

誇れるシンボルをつくるため

次々に仕掛けて、少し先の

地域の姿を見せ続ける。

地域アクション

3

京阪神エルマガジン社
「Meets Regional」

地域を盛り立てる仲間を増やす

京阪神エルマガジン社「Meets Regional」

京阪神エリアの人たちに向けて、街と店の情報を発信する雑誌

提供：京阪神エルマガジン社

京阪神エルマガジン社「Meets Regional」

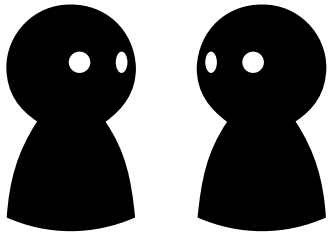
京阪神エリアの人たちに向けて、街と店の情報を発信する雑誌

ローカルエリアの情報の偏りを埋める。
グルメサイトなどにはない「検索を超えた情報」で、
地域の人々の暮らしを豊かにする。

提供：京阪神エルマガジン社

映像をご覧ください
※映像はウェビナー当日限定公開です

街の生の動きを捉えるドキュメント誌。
“スモールサークル”に入り、中の人を巻き込んでつくる。



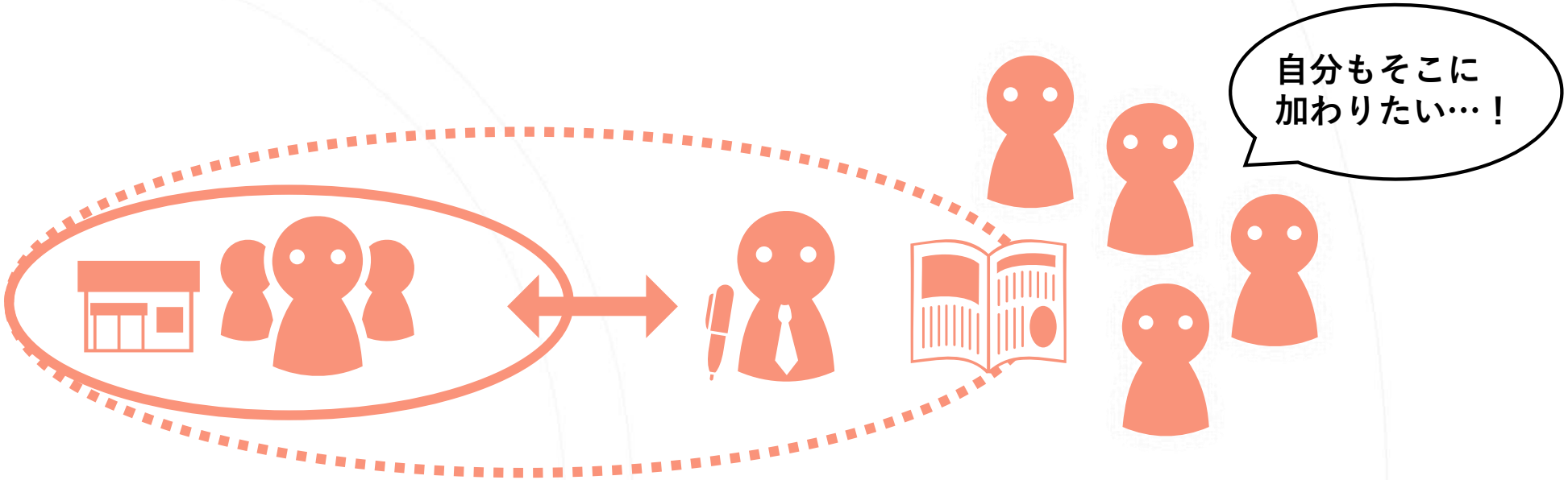
同じ目線に立つ

『Meets Regional』編集長
松尾修平氏

自ら行動する

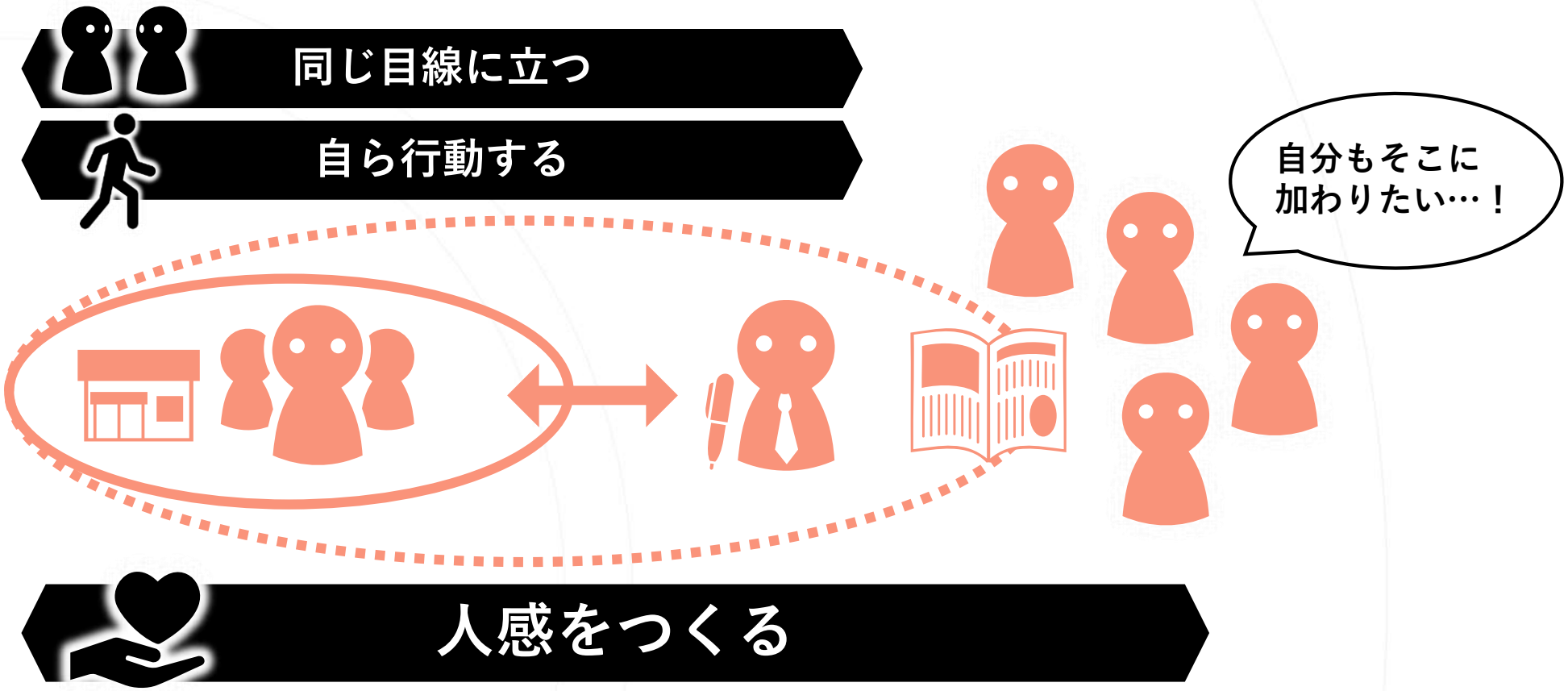
地域を盛り立てる仲間を増やす

街の現場の最前線に立ち、地元のコミュニティと一緒につくる。
編集者の「自腹感」のある生きた情報が、共感と行動を生む。



地域を盛り立てる仲間を増やす

街の現場の最前線に立ち、地元のコミュニティと一緒につくる。
編集者の「自腹感」のある生きた情報が、共感と行動を生む。



コンテンツづくりの過程が

地域のハブとして機能し、

街のコミュニティを見える化。

そこに参加する仲間を増やす。

地域アクション

★4

静岡新聞社・静岡放送
「しずおかMIRUIプロジェクト」

地域経済の旗振り役になる

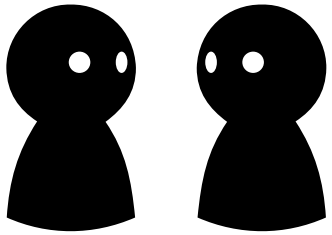
静岡新聞社・静岡放送

「ユーザーファーストを掲げて、地域を動かす」
ビジネスに対するマインドセットが動的に変化。

「静岡新聞社のあるべき姿＝ビジョン」を描いた
イノベーションリポートを公開。
社内と読者・広告主のギャップを確認し、
「ギャップを埋めるための方策」を提案。

映像をご覧ください
※映像はウェビナー当日限定公開です

地域のニーズに徹底的に向き合う。
より深く、ユーザーと関わっていく。



同じ目線に立つ

静岡新聞社・静岡放送　地域ビジネス推進局
小阪秀彦氏

自ら行動する

マインドセットの変化、ユーザーファースト発想で
様々な取り組みが生まれ始めている。

静岡の企業同士でリソースを出し合い、静岡発の新事業を育てる取り組み

「しずおかMIRUIプロジェクト」

提供：静岡新聞社・静岡放送

「しずおかMIRUIプロジェクト」の仕組み

プロジェクト例

提供：静岡新聞社・静岡放送

「しずおかMIRUIプロジェクト」の仕組み

（リリース資料より）

提供：静岡新聞社・静岡放送

「しずおかMIRUIプロジェクト」の仕組み

番組ニュースでの紹介

新聞記事での紹介

令和2年(2020年)11月21日 (土曜日) 朝刊 009ページ

しずおか みるい MIRUI みらい 企業

古民家に宿泊部屋

清水カフェ(静岡市葵区)

中山間地の魅力を発信

長島に囲まれた中山間地域の魅力を発信しようと、静岡市葵区の玉川地区でカフェを営んでいる築100年の古民家をさらに改修し、宿泊施設を設ける。2021年のオープンを目指す。

同地区出身の河合博さん(46)は15年に故郷を改修し、カフェ「みりょく」をオープン。「人口減少や耕作放棄地の増加が進み、地域が衰退していくなかで何かできないかと考えた。地元を盛り上げたかった」と話す。

カボチャやサトイモなど地元野菜を使ったランチを古民家で提供するスタイルが評判で、週末の土、日には県内外から客が訪れるようになった。開業を手伝ってくれた住民の思いの強さも定着した。

開業から4年。徒に囲まれ、清流のせせらぎや野鳥のさえずりが響き渡る豊かな環境を生かし、結婚記念の写真や動画の撮影、星空のキャンプなどのサービスも始めた。「古民家で宿泊もできたらいいのに」という地元からの要望を受け、古民家の一部屋を宿泊用に改修することを決めた。

内装や家具は廃材を活用し、地域の魅力を感じられる部屋づくりを予定している。宿泊は1日1組限定で、4人まで利用可能。クラウドファンディングで資金を募り、部屋や浴室の改修に充てる。

「星空がきれいで、街灯もなく、満天の星を体験できる。宿泊を通した地域の魅力発信に移住促進にもなれば」と意気込む。

〈鳴海祐歌〉

カフェの内装。休日には県内外から観客が訪れる

河合博さん

クラウドファンディング

目標額 200万円

活用 畳中敷、厨房

◇会社概要 2016年創業。従業員2人

静岡新聞

提供：静岡新聞社・静岡放送

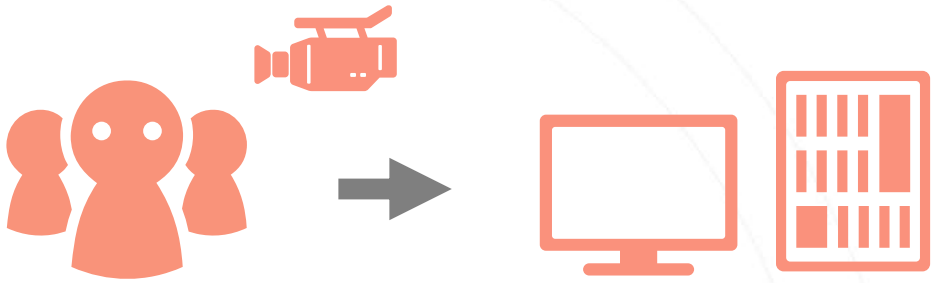
映像をご覧ください
※映像はウェビナー当日限定公開です

地域経済の旗振り役になる

静岡の頑張っている事業者を「取材して終わり」ではなく、
彼らが次のステップに進むサポートまで行う。

【見つける】取材～掲載・放送

【支援する】資金調達/事業拡大



地域経済の
活性化

同じ目線に立つ

自ら行動する

旗を掲げる

地域でチャレンジする人の

「発見」から「応援」までを

生活者と共に実行する。

地域経済を活性化する仕組み。

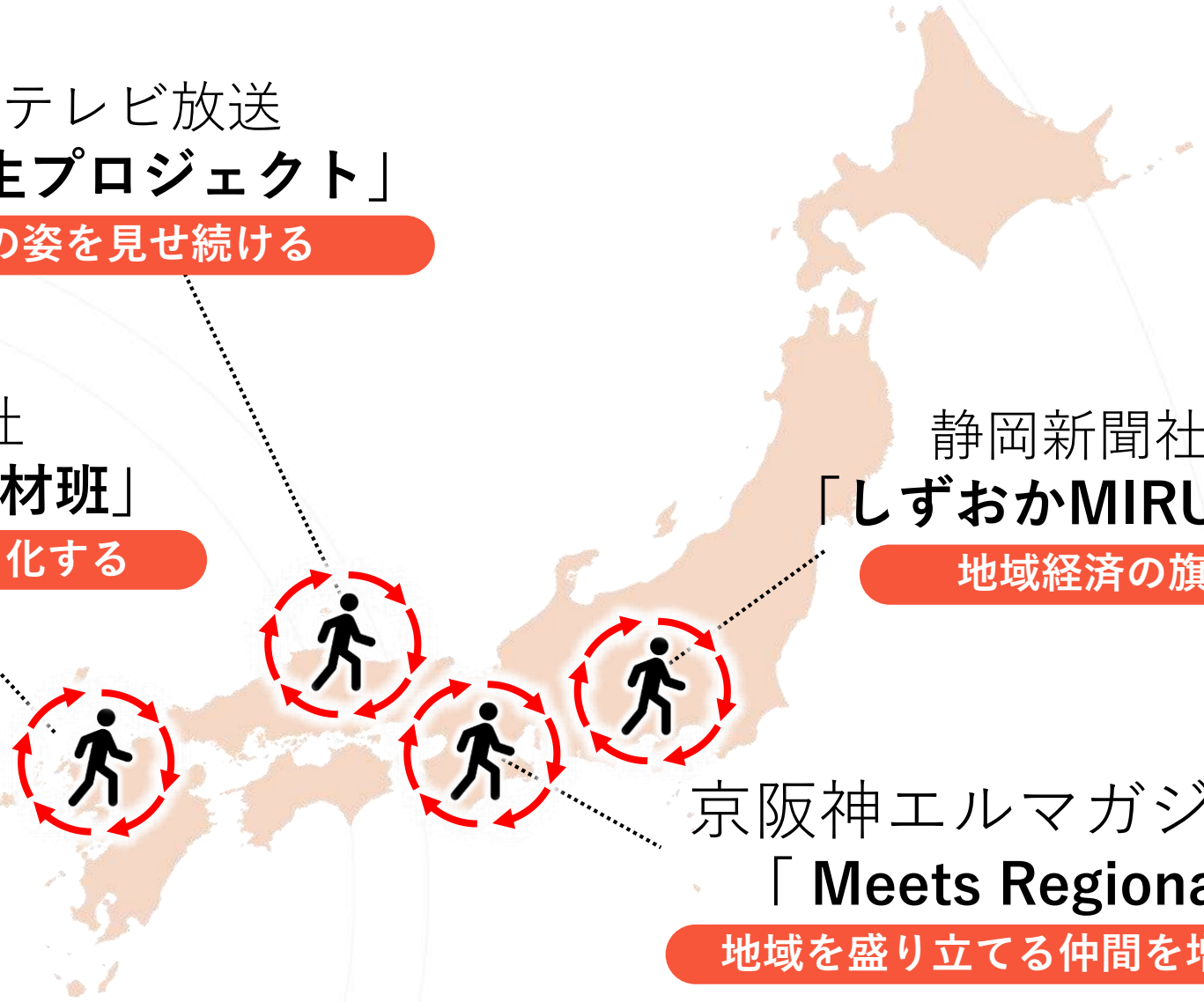
4つの「地域アクション」から見えてきたもの

旗を掲げて、過程から生活者を巻き込み、行動し続けること

中海テレビ放送
「中海再生プロジェクト」
少し先の姿を見せ続ける

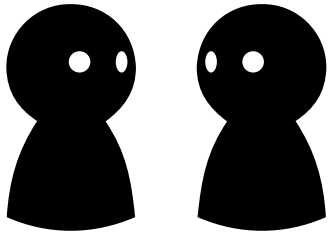
西日本新聞社
「あなたの特命取材班」
困りごとを世の中ごと化する

静岡新聞社・静岡放送
「しずおかMIRUIプロジェクト」
地域経済の旗振り役になる

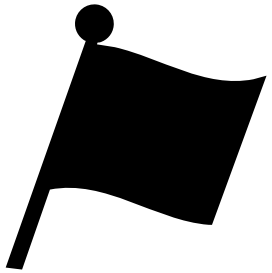


京阪神エルマガジン社
「 Meets Regional」
地域を盛り立てる仲間を増やす

地域アクション 4 つのポイント



同じ目線に立つ

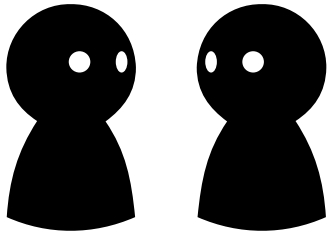


旗を掲げる

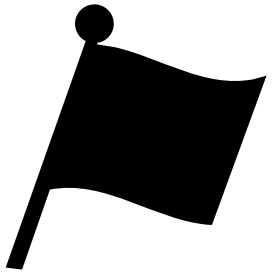
人感をつくる

自ら行動する

気持ちが入って継続したとき「行動源」に



同じ目線に立つ



旗を掲げる

人感をつくる

自ら行動**し続ける**

メディアの役割は、

「情報源」から「行動源」へ

「地域アクション」の設計が、
メディアやブランドと生活者の絆を
より強固に、永続的にする。

生活者と共に未来をつくっていく
チャンスに繋がる。

MEDIA NEW NORMAL

コロナ禍は生活をどう変えたか　メディアはどう変わるか

Day-1

「オンライン同期」が
メディアコンテンツを
強くする

Day-2

「地域アクション」で
メディアと生活者の
絆をつくる

時間軸の新しい捉え方

空間軸の新しい捉え方

NEW NORMAL における2つのチャンス

MEDIA NEW NORMAL

コロナ禍は生活をどう変えたか
メディアはどう変わるか

メディア
環境
研究所

■データ利用時のガイドライン

本発表資料のデータ等を引用する際は必ず、レポートから抜粋・加工の上、出典として

博報堂ＤＹメディアパートナーズ メディア環境研究所ウェビナー2020 「MEDIA NEW NORMAL~コロナ禍は生活をどう変えたか、メディアはどう変わるか~『地域アクション』でメディアと生活者の絆をつくる」

と明記してください。

注）提供表示があるスライドの引用につきましては、info@mekanken.comまでご連絡をお願い致します。